

## 『岐阜信長歴史読本』における誤表記発生の経緯に関するご報告

ビジネス・生活文化局歴史読本編集部編『岐阜信長歴史読本』（2017年1月30日刊行）における複数箇所の誤表記につきまして、読者の皆さまをはじめ、岐阜市関係者の皆さま、製作・販売にご尽力いただいた皆さまには、多大なご迷惑をおかけしております。また、平素よりお取引をいただいております関係先の皆さまにも、多大なご心配をおかけすることとなりました。

あらためて、このたびの事態につきまして深くお詫びを申し上げます。

『岐阜信長歴史読本』の誤表記発生の経緯につきまして、社内調査によって判明した事実関係をご報告いたします。

『岐阜信長歴史読本』の製作にあたっては、内容の校正・校閲作業を、弊社と取引実績のある専門会社に委託しておりました。当該会社は、弊社が提供した校正刷に、内容のチェックならびに修正箇所の指摘（朱字）を正確かつ的確に行い、弊社担当編集者に納品したことを確認しております。

しかしながら、当該会社から指摘された朱字を、実際の修正を指示する校正刷に反映させる弊社内での作業において、多くの転記漏れが生じ、それが最終的に修正されることなく刊行に至りました。

社内調査の結果、こうした事態を招いた原因として、以下の2点を認識しております。

第1に、本来2回行うはずの校正・校閲作業が『岐阜信長歴史読本』では、1回しか行われていなかった事実です。

弊社では「校正・校閲は2回以上行う」ことを編集製作の大原則としております。校正・校閲作業の結果が的確に反映されていることの確認、また、出版物の内容・体裁が発行に適正かどうか精査するためには、複数の校正・校閲作業が必然だと考えているからです。

しかし今回の『岐阜信長歴史読本』の編集製作過程においてはスケジュール管理の不備から、その大原則が遵守されておりました。

第2には、『岐阜信長歴史読本』編集部内での校正刷の内容確認作業において、組織的なチェック体制が機能していなかった、という事実です。

以上のことから、今回の事態は歴史読本編集部ならびに所管するビジネス・生活文化局、ひいては弊社としての業務管理体制の不備に起因するものであったと強く反省しております。弊社では今後、このような事態を再び起こさぬよう、2月11日付で弊社代表取締役を責任者とする対策チームを発足させ、全社を挙げての再発防止に向けた具体的な取り組みを検討し、実行してまいります。

2017年2月15日

株式会社 KADOKAWA